

令和4年度 評価計画及び自己評価

(計画) 中間・最終

倉橋中学校区 校番 31 学校名 呉市立倉橋小学校

a 学校教育目標	かかわる つながる 学び続けるひと ～未来社会に役立つことを見据え～	b 経営理念 ミッション・ビジョン	<ミッション> (学校の使命)	〇道なき未知へ突き進む「ひと」としての根っこを育てる
			<ビジョン> (将来の学校像)	〇あこがれ、憧れられる育ちの環をつくる「学びの場」

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	<p>昨年度まで小中一貫教育研究指定を受け、9年間を見通した学力や生活力向上に向けた取組がなされ、一貫した指導により、授業改善や学習意欲の向上・家庭学習の定着が図られ、異学年や地域との交流・協働による活動が充実している。反面、学力調査から、基礎・基本の定着及び情報の整理や表現力に課題があり、学力は十分とは言えない。基本的な生活習慣の定着及び自己有用感の向上についても課題が見られ、取組を継続する必要がある。今後さらに施設一体型小中一貫教育校のよさや地域資源(ひと・もの・環境等)を生かした教育活動の深化を図る。</p> <p>①目指す資質・能力の育成と確かな学力(基礎・基本/論理的表現力)の定着に向けた指導方法の工夫 「主体的な学び」 ②他者との関わりを大切に、協働的な教育活動の充実 「自己有用感」 ③健康・安全な生活づくりと体力づくりの推進 「自律」 ④教職員が意欲とやりがいをもって働くことができる風土・業務改善の継続 「働き方改革」</p>
------------------------------	--

育成すべき資質・能力	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性
------------	-------	-------------	-----

評価計画(中期経営目標を設定してから) 2・3 年目						自己評価					
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための 方策 (こんなことをして達成します)	g 指標 (効果を見とる目安)	h 目標 値	上半期			下半期		
						i 達成率	j 達成度	k 評価	i 達成率	j 達成度	k 評価
真 主体的に学び合い、考え、表現できる子供を育てる。 「主体的な学びの実現」		主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行い、学力向上を図る。	・「学びのデザインシート」を活用し課題発見・解決の過程を位置付けた単元づくりを行う。(年1回以上)	・「課題発見・解決学習」に係る児童意識調査(「表現」「協働」)の肯定的評価の割合(児童アンケート)	80%						
			・1時間の「授業サイクル」を意識した授業を行う。「課題設定」…「めあて」「対話による整理・分析」「まとめ」「振り返り」	・「授業サイクル」と連動した授業改善シートによる肯定的評価(教師 アンケート)	80%						
			・学習規律の定着を図る。「理由を付けて発言」「反応しながら聴く」	・各学期末漢字50問テスト・算数テスト正答率80%以上の児童の割合	90%						
			・学力補充の時間の確保と個に応じた支援の工夫を行う。 ・読書活動の充実を図る。	・標準学力調査で全国平均を上回る学級の割合	90%						
協働し、自他を大切に する子供を育てる。 「社会性・自己有用感の 涵養」	基本的な生活態度を定着させる。 ・「自分から挨拶」 ・「5分前行動」 ・「無言掃除」 ・「あつたか言葉・あつたか行動」	主体的に他者とかかわり認め合う温かい人間関係を築く。	・各学年で生活目標とリンクさせた具体的な取組を行い、振り返りを継続する。 ・他者評価を取り入れ、視覚化する。	・毎月の生活目標が80%以上守れたクラスの割合 ・各項目児童振り返りアンケート(学期末)肯定的評価	85% 80%						
			・教科等・行事の中で、地域や異学年との交流、縦割り活動の場を仕組み、振り返りと評価を行う。 ・年間を通して取組のあしあと(あつたか言葉・あつたか行動の木)を掲示する。	「自分にはよいところがある」「自分のよさは周りから認められている」と感じる児童の割合(児童アンケート)	80%						
健康・安全な生活づくり、 体力づくりを自ら実行する 子供を育てる。 「自律した生活基盤 づくり」	規則正しい生活習慣を定着させる。	安全への意識と体力を向上させる。	・メディアの利用について家庭と連携し、取組を行う。 ・げんきアップチェックを活用した取組を毎学期1回実施する。	・げんきアップチェックの期間でメディアの時間を守れた児童の割合 ・基本的な生活習慣アンケート(保護者)の肯定的評価の割合	70% 80%						
			・柔軟性や持久力向上に向けて体育の授業の最初に柔軟体操や3分間走を行う。 ・防災に係る取組、避難訓練を充実させる。(振り返り、アンケートを実施、結果の共有)	・50m走、長座体前屈、20mシャトルランの県平均以上の児童の割合 ・避難訓練後、防災に対する意識が高まった児童の割合	65% 80%						
業務改善 「働き方改革」	教職員が力を発揮し、意欲とやりがいをもって働くことができるようにする。	児童と向き合う時間を確保し長時間勤務の削減する。	・日課時間の改善や業務の精選と効率化を進める。 ・スケジュール管理により見直しを持ち業務を行うようにする。 ・退庁時刻の目標を設定し、確実に守るようにする。	・児童と向き合う時間が確保されてきたと感じる教職員の割合 ・時間外勤務が月45時間未満の教職員の人数	90% 100%						

[注] 評価  
A: 100% (目標達成) B: 80% (ほぼ達成) < 100  
C: 60% (もう少し) < 80 D: (できていない) < 60